

研究概要書：地方振興を目指した空港利用の地域間連携及び 空港ターミナルの交通連結機能の高度化に関する研究

研究代表者名：空港研究部長 加藤久晶
 技術政策課題：（５）人・物のモビリティの向上
 関係研究部：空港研究部
 研究期間：平成19年度～平成21年度
 総研究費（予定）：約45百万円

1. 研究の概要

交通政策審議会航空分科会答申（平成14年12月6日）によれば、地方空港については、その配置的側面からの整備は概成したとされているが、同答申では「既存空港の高質化」が、さらに、社会資本整備重点計画（平成15年10月10日閣議決定）では「ハード・ソフトの組み合わせや既存空港の十分な活用を中心とする質的充実」が謳われているところである。従って、今後も、地方空港については、観光振興や地域活性化等の新たな観点から有効利活用を図る必要がある。これを受け、国土交通省航空局では、空港における利便性を向上させるための「航空サービス高度化推進事業」（平成16年度）等を創設したところである。このように、地方空港においては、改良・利活用へとパラダイムが変化しており、改良・利活用時代に対応した空港の有効利活用方策を構築することが求められている。

このため、国においては、

- ①自治体の枠を越える広範囲の旅客の流動等の動向や潜在的・顕在的なニーズ、課題等を把握し、自治体の枠を越えた、空港利用の地域間連携方策を構築する
- ②地域や空港の特性に応じた、空港ターミナルにおける交通連結機能の高度化方策等を構築する
- ③今後、地域が独自に自らの地域や空港の方向性を決めるための、空港利用の地域間連携方策、空港ターミナルにおける機能高度化方策の設定方法を構築する

必要がある。

従って、本研究においては、地方空港の有効利活用による地域振興を推進するため、全国の空港利用者のニーズ・行動特性、自治体を越えた広域を流動する旅客の動向等を把握・分析し、

○空港利用の地域間連携方策

- ・地域における広域連携の発想等からの新規路線の開拓
- ・国際線と国内線の連携方策・ハブ空港乗り継ぎの促進・向上方策
- ・地方空港間の交流可能性
- ・エア&レールの利活用・向上方策
- ・イン・アウト空港が異なる広域の流動に対応した連携方策

(x.新千歳－北海道内諸空港、能登－富山－小松、長崎・熊本－大分、広島－岡山)

○空港ターミナルにおける交通連結機能等の高度化方策

- ・航空機間の乗り継ぎ利便性の向上
- ・2次交通との乗り換えの円滑化
- ・情報提供機能の拡充
- ・ターミナル施設の多機能化、複合機能化

○地域間連携方策・空港ターミナルの機能高度化方策の設定手法

- ・データの取得・分析方法

- ・地域毎の地域間連携方策、空港ターミナルの機能高度化方策の設定方法
- ・施策の評価方法

を提言するものである。

2. 研究の目的

本研究は、地方空港の有効利活用による地域振興を推進するため、全国の空港利用者のニーズ・行動特性、広域を流動する旅客の動向等を把握・分析し、

- ・空港利用の地域間連携方策
- ・空港ターミナルの機能高度化方策
- ・空港の有効利活用の設定手法

を提言するものである。

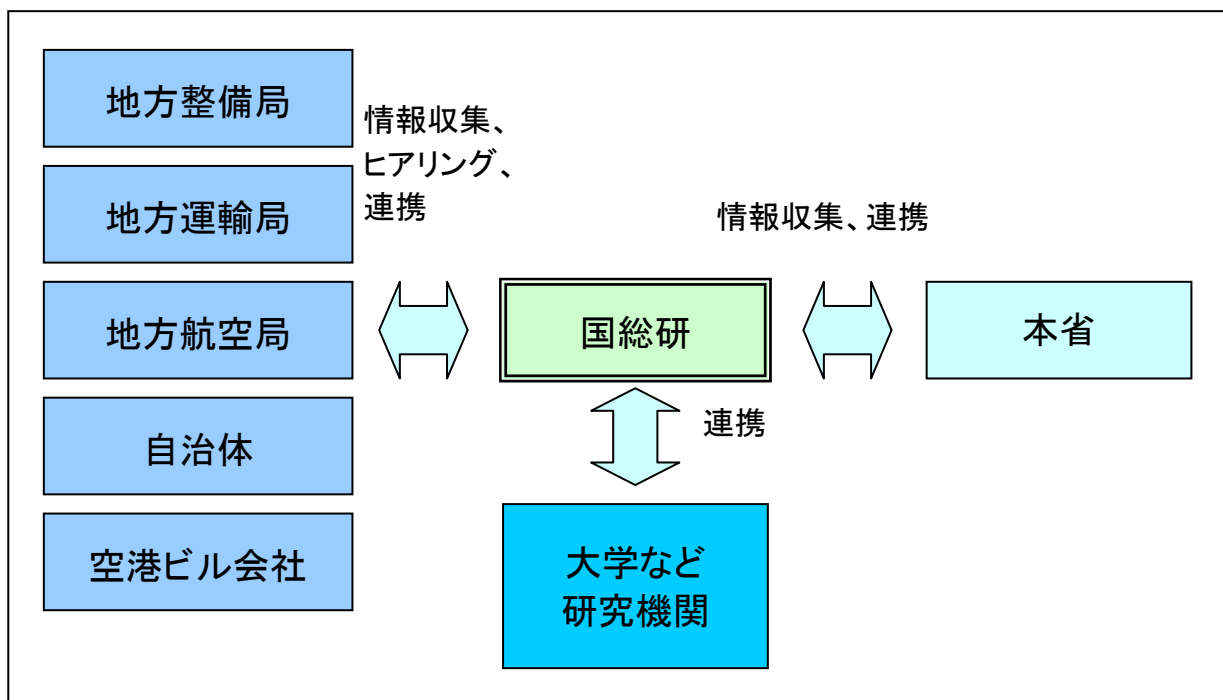
3. 自己点検結果

(必要性)

地方空港については、観光振興、地域活性化などの新たな観点も取り入れた、改良・利活用へとパラダイムが変化しており、改良・利活用時代に対応した空港の有効利活用方策を構築することが求められている。このため、国においては、地域や空港の特性に応じた利活用方策及びその設定手法を提言し、効果的・効率的な空港の有効利活用を推進し、地方振興に寄与することが必要である。

(効率性)

現在も全国各地の空港及び関連自治体と情報の交換を図りつつ、調査研究を進めているところであり、本研究においても、全国の地方空港及び関連自治体と協力の上、データの取得・分析等を効果的・効率的に行うことが可能である。



(有効性)

本研究により、以下が可能となる。

- ・効果的・効率的な地方空港の有効利活用の推進及びそれに伴う地方振興の促進
- ・自治体等独自の地域・空港の特性を踏まえた空港の利活用方策の設定

年度計画と研究費配分

区分	実施年度			総研究費 約45 [百万円]
	H19	H20	H21	研究費配分
①空港利用の地域間連携方策・空港ターミナルの高度化方策の現状の把握、事例分析 ・空港利用の地域間連携方策・空港ターミナルの高度化に係る全国における現状及び課題の把握 ・過去の国内事例、海外事例の収集及び分析	—			5 [百万円]
②全国の空港利用者の行動特性・ニーズ・課題等の把握 ・全国の空港の立地、地域特性（立地、施設構成、空港周辺の地域資源の分布等）の把握・分析 ・全国の空港における利用者ヒヤリング及びアンケート調査の実施 ・全国の空港における利用者属性（ビジネス、国内観光客、インバウンド、非常用者）比率及び属性毎の行動実態（ex.行動範囲、2次交通手段（団体バス、路線バス、レンタカー、軌道等）、イン・アウト空港、経由地等）、潜在的・顕在的なニーズの把握・分析 ・空港利用客の広域の流動（インアウト空港が異なる流動等）の把握・分析	—	—		15 [百万円]
③空港の特性（類型）別の地域間連携方策・空港利活用方策の検討 ・以上をもとにした空港毎の特性の整理・空港の類型化 ・空港類型別の地域間連携方策・空港利活用方策の検討	—	—		5 [百万円]
④社会実験の実施【自治体・運輸局・整備局】 ・地域間連携方策・空港ターミナルの高度化方策に関する施策メニューの抽出、整理 ・自治体、運輸局、整備局、民間事業者等による施策実施に際しての課題の抽出、整理 ・社会実験 ・施策へのフィードバック		—	—	15 [百万円]
⑤空港利用の地域間連携方策、空港ターミナルの高度化方策及び改良・利活用時代に対応した地方空港の利活用方策の設定手法の提言			—	5 [百万円]

【事前評価】

研究成果及び活用

別紙様式[事前]

研究課題名：地方振興を目指した空港利用の地域間連携及び空港ターミナルの交通連結機能の高度化に関する研究

研究の成果目標	期待される研究成果	研究成果の活用方針(施策への反映・効果等)	備考
全国の空港における旅客のニーズ・行動実態の把握・分析 全国の空港における有効利活用方策の提言	全国の空港における旅客のニーズ・潜在的な要望・課題を把握するとともに、行動実態を把握・分析する。 全国の空港の特性・類型に対応した ・空港利用の地域間連携方策 ・空港ターミナルの機能高度化方策を提言する。	自治体等における地元の空港特性の把握を可能にする。 地方空港の利活用対策の効果的・効率的な推進に反映。自治体等が、地域・空港の特性を踏まえた空港の利活用方策を決定することが可能となる。	

地方振興を目指した空港利用の地域間連携及び
 空港ターミナルの交通連結機能の高度化に関する研究

研究課題	現状分析・現象の把握			政策化
	現象の把握	現象の分析・モデル化	将来予測	
全国の空港における旅客のニーズ・行動実態の把握・分析	黄点	黄点	青	白
全国の空港の類型化	白	青点	青	白
全国の空港における利活用方策の提言	白	白	白	青

- かなり研究が進んでいる研究領域
- いくらか研究が進んでいる研究領域
- ほとんど研究が進んでいない研究領域
- 国総研での研究実績のある研究領域